

内閣総理大臣杯  
第 55 回日本社会人ゴルフ選手権  
＜関東決勝大会＞

開催日：令和 6 年 9 月 13 日（金）  
会 場：宍戸ヒルズカントリークラブ 西コース  
主 催：スポーツニッポン新聞社

本競技においては日本ゴルフ協会発行のゴルフ規則とこのローカルルールと競技の条件を適用する。  
本書に記載の無い事項や追加変更がある場合は競技規定やプレーヤーへの通知文書、または競技会場での掲示物に記載されるので必ず参照すること。  
ゴルフ規則によって別に定められている場合や本書に罰が記載されている場合を除き、このローカルルールと競技の条件の違反の罰は、「一般の罰（2 罰打）」となる。

【ローカルルール】

1. アウトオブバウンズ（規則 18.2）
  - (a) アウトオブバウンズ（OB）は白杭のコース側を地表レベルで結んだ線によって定められる。  
ただし、西コース 2 番ホール右側は白杭とフェンスのコース側の縁を結んだ線によって定められる。
  - (b) 西コース 2 番と 12 番ホール、西コース 3 番と 11 番ホールの間の白杭を結んだ線を越えて止まった球は、他のホールではインバウンズとなるコースの別の部分に止まったとしてもアウトオブバウンズである。
2. 異常なコース状態（規則 16）
  - (a) 修理地
    - (1) 青杭を立て、白線で囲まれた区域
    - (2) グリーンの前後を含み、フェアウェイの芝の長さかそれ以下の区域にあるヤーデージマーキングペイント（スタンスへの障害は除く）。
  - (b) 動かさない障害物
    - (1) 排水溝
    - (2) 小砂利、ウッドチップ、松葉などを使用して舗装した区域。小砂利やウッドチップなどの個体はルースインペディメントである。
    - (3) 複数の動かさない障害物が接している場合、それらはひとつの動かさない障害物の一部として扱われる。
    - (4) 動かさない障害物と白線でつながれている区域は、その動かさない障害物の一部として扱われる。
3. 保護フェンス

保護フェンスに球が近接しているためにスタンスや、意図するスイングの区域の妨げになる場合、規則 16.1 により処置するときは、その障害物の中や下や上を通さずに救済のニヤレストポイントを決めなければならない。
4. 不可分な物

以下の者は不可分な物であり、無罰の救済は認められない。  
ペナルティーエリア内にある人工の壁や杭でできた構造物。
5. 46 インチを超える長さのクラブの使用禁止（ローカルルールひな型 G-10）

ローカルルールひな型 G-10 を適用する。
6. クラブと球
  - (a) ストロークを行うために使うドライバーは R&A が発行する最新の適合ドライバーヘッドリストに掲載されているクラブヘッド（モデルとロフトで識別される）を持つものでなければならない。
  - (b) ストロークを行うとき、プレーヤーは 2010 年 1 月 1 日に施行された用具規則の溝とパンチマークの仕様に適合するクラブを使わなければならない。
  - (c) ストロークを行うときに使用する球は R&A が発行する最新の適合球リストに掲載されていなければならない。  
このローカルルールの違反に対する罰：失格
7. ゴルフシューズ

ローカルルールひな型 G-7 を適用する。
8. プレーの中断と再開（規則 5.7）
  - (a) 即時中断（落雷等、切迫した危険がある場合）

委員会がプレーの即時中断を宣言した場合、すべてのプレーヤーは直ちにプレーを止めなければならない。委員会がプレーを再開するまでは別のストロークを行ってはならない。  
このローカルルールの違反に対する罰：失格  
即時中断中は、委員会がオープンと宣言するまで、すべての練習施設はクローズとなる。クローズとなった練習施設で練習しているプレーヤーは練習を止めるように要請される。その要請に従わなかった場合、失格とすることがある。
  - (b) 通常の中断（日没やコースがプレー不能）

規則 5.7b、c、d に従って処置すること。

(c) プレーの中断と再開の合図

即時中断 : 1回の長いサイレン

通常の中断 : 3回の短いサイレン

プレーの再開 : 2回の短いサイレン

} と同時に、本部よりカートナビ及び競技委員を通じてプレーヤーに連絡する。

9. 練習(規則 5.2)

規則 5.5b は次の通り修正される

2つのホール間のプレーの間、プレーヤーは次のことをしてはならない。

終了したばかりのパッティンググリーンやその近くで練習ストロークを行う。または、

終了したばかりのパッティンググリーンの表面をこすったり、球を転がすことによってパッティンググリーン面をテストする。

10. キャディー

プレーヤーはラウンド中に委員会によって指定された者以外をキャディーとして使ってはならない。

このローカルルールの違反に対する罰：

・違反があった各ホールに対して一般の罰を受ける。

・違反がホールとホールの間起きた場合、プレーヤーは次のホールに対して一般の罰を受ける。

または違反がホールとホールの間まで継続した場合、プレーヤーは次のホールに対しても一般の罰を受ける。

【競技の条件】

1. 参加資格

プレーヤーは競技規定に定められた参加資格を満たさなければならない。

2. 競技委員会の裁定

競技委員会は競技の条件を修正する権限を有し、すべての事柄について、この委員会の裁定は最終である。

3. プレーの条件

18ホール・ストロークプレーを行い、合計48名（レギュラークラス上位32名、シニアクラス上位16名）が日本選手権の出場資格を得る。※シード選手を除く

4. タイの決定

所定のホールが終わり、レギュラークラスで1位にタイが生じた場合、1番→2番→3番→4番ホール・・・にてホールバイホールのプレーオフを行い、優勝者を決定する。なお、3名以上でプレーオフが行われる場合、優勝者以外のプレーヤーは2位タイとする。また、シニアクラス1位と日本選手権への通過ラインにタイが生じた場合は、マッチング・スコアカード方式により決定する。

【マッチング・スコアカード方式】

①10番から18番ホールの合計スコア、②13番から18番ホールの合計スコア、③16番から18番ホールの合計スコア、④18番ホールのスコア、⑤4番から9番ホールの合計スコア、⑥7番から9番ホールの合計スコア、⑦9番ホールのスコアの順で決定する。上記の方法でも決まらない場合は、⑧委員会によるくじ引きで決定する。尚、くじ引きの際、当該選手不在の場合は委員会が代理でくじ引きをする。

5. スコアカードの提出

本競技においてはスコアリングエリア方式を採用する（プレーヤーの両足がエリアから出た時点をもって提出されたものとみなす）。

6. ティーマーカー

本競技のティーマーカーはレギュラークラスは青マーク、シニアクラスは白マークとする。

7. 競技終了時点

競技委員長が成績発表がなされた時点をもって終了したものとみなす。

<ヤーテージ>

◇内閣総理大臣杯 第55回日本社会人ゴルフ選手権 関東決勝大会 ヤーテージ◇

	ホール	1	2	3	4	5	6	7	8	9	Out	10	11	12	13	14	15	16	17	18	In(西)	Total
レギュラー	ヤード	398	519	166	415	402	588	196	436	508	3,628	515	385	408	162	430	615	155	430	420	3,520	7,148
シニア	ヤード	398	519	166	393	374	545	196	390	449	3,430	494	374	325	146	430	580	155	412	374	3,290	6,720
	パー	4	5	3	4	4	5	3	4	4	36	5	4	4	3	4	5	3	4	4	36	72

※コース状況により、変更になる場合がある。

## 【注意事項】

1. 大会当日の受付、フロント、レストラン、打球練習場のオープン時間は6:00とする。
2. 競技の条件やローカルルールに追加変更のあるときは、クラブハウス内掲示板とスターターズテント内に掲示して告知する。
3. スタート時刻40分前にはクラブハウス内で大会受付とコースフロント受付を済ませ、スタート時刻10分前には必ずティーインググエリア周辺で待機すること。但し、欠場者が出た場合は組み合わせを変更する場合がある。
4. プレーの進行に留意し、前の組との間隔をあげないように注意すること。不当な遅延、スロープレーについては、規則5.6aにより罰せられることがある。
5. パッティンググリーンに著しく損傷を与えるシューズは使用禁止とすることがある。
6. 競技委員会は競技中を含めいつでも、出場にふさわしくないと判断したプレーヤーの参加資格を取り消すことができる。
7. 競技委員会は規則1.2に基づき、すべての競技関係者、ギャラリーへの暴言等を含めエチケットの重大な違反があったプレーヤーに対して「行動規範」(大会公式HP参照)に基づき罰を課すことができる。
8. 失格など競技委員会の決定について、抗議、その他のクレームは一切認めない。
9. 練習は指定練習場で行うこと。打球練習場は備え付けの球を使用し、1人1コイン(30球)を限度とする。
10. アプローチ・バンカー練習場は、自己の球を使用すること(1人5個まで)。
11. 指定練習日および大会当日の服装およびエチケット・マナーに留意すること(ジーンズ、スウェット、Tシャツ、サンダル、ハイヒールなど禁止)。
12. ギャラリーのコース内及び練習グリーンへの立ち入りは禁止する。※ギャラリーの方のレストラン利用は現金のみ
13. 病気、事故等で参加を取り止める場合は必ず大会事務局に連絡すること。但し、この場合でも参加費の払い戻しはしない。参加を取りやめる場合、9月12日(木)まではスポニチ(Tel:03-3820-0651)、競技当日は開催コース(Tel:0296-77-2141)に連絡すること。

- |   |
|---|
| <p>14. <u>球がグリーン上にある場合、グリーンリーディング資料(ヤードージブック、カートナビ等)の制限に違反した資料をプレーの線を読む支援として使用すると規則4.3の違反となる。</u></p> |
|---|

競技委員長